



埼玉の福祉広報



5月12日は
民生委員・児童委員の日!
日々の活動お疲れ様です



埼玉県社協
マスコット
「シャキたまくん」

つながりをチカラに



作品名 「VIVA LA ROCK」 作者 安田 拓海さん (社会福祉法人みぬま福祉会 工房集所属)



巻頭インタビュー

『マッチョ介護士』で
福祉現場のイメージを覆す

～新しい視点から

人材確保と定着の課題に取り組む～

株式会社ビジョナリー 代表取締役社長

丹羽 悠介 さん

安田さんは聴覚に障害があり、音を聴き取ることは困難だが、ライブでの様子や重低音の振動で感じたことを「表現したい」と思い、大好きな刺繍で作り上げたものである。創作にあたっては、1日に3～4時間じっくり時間をかけ、約1年半の期間を経て仕上げられた。同じ色の糸でも太さを変えたり、何色か刺繍糸を混ぜて縫うことでライブの臨場感やアーティストの表情が絶妙に表現されている。

全体のレビューは
こちら



埼玉県障害者アート
オンライン美術館

『マッチョ介護士』で 福祉現場のイメージを覆す

新しい視点から

人材確保と定着の課題に取り組む

ボランティアで訪問介護の仕事に出会い、人のためになる喜びを感じて訪問介護の会社を立ち上げた丹羽悠介さん。今では日本一マッチョの介護士が多い会社として知られ、慢性的に人手不足の介護業界では他に類を見ない実績を上げています。

今回はそのきっかけや反響、そして人材確保や定着を進めるために大切にしていることなどを伺いました。

「マッチョ」と「福祉」のマッチングを発想した
きっかけをお聞かせください。

2008年に訪問介護事業を始めて以来、私にとって最大の課題は人材の確保でした。男性である私には、力仕事を伴う障害分野の介護の依頼が多く、「どうすれば若い男性が介護の仕事に興味を持つのか」「どうやったら人が来てくれるのか」と常に考えていました。

私自身、介護の魅力に触れたのは、美容師を辞めた後、訪問介護のボランティアで利用者さんの髪を切った際にいただいた「ありがとう」の一言でした。その一言に胸を打たれ、この仕事に強く惹かれました。「介護に興味がなくても、この魅力

に触れてみれば良さが伝わる」——そんなきっかけを若者に提供したいという想いが出発点でした。

抜本的な解決策を見出さなまま、人材確保のための方策を日々検討していた2016年頃、ジムで偶然ボディビルの選手たちを見かけ、「こういう人たちが介護の仕事をしていたら面白いよな」と、「マッチョ」×「福祉」という発想が生まれました。周囲は全員反対しましたが、私は「誰も賛成しないということは、まだ誰もやっていないチャンスだ」と感じました。

後にさまざまなメディアで、「鍛えた筋肉を介護に活かして、相性がいい」などと取り上げてもらっていますが、これは最初から分かっていたこと

株式会社ビジョナリー 代表取締役社長

にわ ゆうすけ
丹羽 悠介さん



1985年、岐阜県羽島市に生まれる。美容師を経て、2008年愛知県に(株)ビジョナリーを設立し、3人で訪問介護事業を開始。2012年放課後等デイサービス、2017年からは施設介護と順調に事業を拡大する一方、人材確保に悩んだ。2016年頃、ジムでマッチョと出会い、マッチョの採用を決断。2018年、マッチョ介護の広告塔として、日本初フィットネス実業団「7SeaS」(セブンシーズ)を設立。マッチョがボディビル選手と介護士を両立できる環境を整えた。現在、ビジョナリーの運営施設は愛知県を中心に31施設、従業員約400人(男性49%、女性51%、25~34歳中心)、うち実業団選手7人。採用応募件数は年間1000件(マッチョ1割)を超える。主著に『マッチョ介護が世界を救う! 筋肉で福祉 楽しく明るく未来を創る!』講談社。



ではなく、ただ若い人に介護の魅力に触れてもらうきっかけを作ることを第一に考えた結果でした。

初めてマッチョ人材を募集したとき、応募者のほとんどが介護未経験で、不安を抱く人が大半でした。しかし、私は介護に必要なのは技術だけではなく、コミュニケーション能力や明るさだと考えていました。だからこそ「この人の力になりたい。自分が頼られているという意識を忘れない。そういうところを大事にしてほしい」と伝えました。

入社前の現場体験で、利用者さんから多くの「ありがとう」をもらった彼らは、自分の身体的な強みが役に立つ実感を得て、「意外に楽しい」「やりがいがある」と前向きに感じてくれました。また、介護の仕事が嫌だと言って辞めていく人はほとんどいませんでした。

マッチョ介護士の社内での活躍や地域での活動についてお聞かせください。

社内でも、コミュニケーションが苦手な若者スタッフは少なくありません。しかし、マッチョがいるとダイエットや食事、トレーニングなど話題が豊富なので、スタッフ同士の会話が増えました。会社全体の雰囲気明るくなり、組織としての活気も高まっています。



ボディビル選手で介護士としても活躍する驚見拓也選手(7SeaS所属)



日々、トレーニングで鍛えているマッチョ介護士は、体の使い方がうまく、利用者の安心にも繋がっている。

当社が掲げる「目の前のお客様から『出会えてよかった』と言われる人になる」というVALUE(価値)を体現する存在として、彼らは地域活動にも積極的に参加しています。

例えば、介護が必要な方をキャンプにお連れしたり、地域の体操教室へ講師を派遣したりと、地域に貢献する活動を続けています。これらは地域の活性化につながるだけでなく、会社の知名度向上にも作用し、採用のプラス効果も生んでいます。イベント参加をきっかけに「雰囲気が良い」と学生が入社を決めることも珍しくありません。

人材確保や定着について実績が上がっていますが、どのようなことを大切にしていますか。

採用や定着において私が大切に行っているのは、「この会社は自分のやりたいことを本気で応援し

てくれる」と感じてもらうことです。会社の支えや仲間の存在が働きやすさにつながり、「ここで働き続けたい」という気持ちを生み出します。

介護は人が商品とも言える仕事です。だからこそただ人々を大切にできるのが最も重要だと考えています。また、会社という船には会社の方針に共感し、本気で良いと思う人だけが乗るべきだとも思っています。チームの団結こそが、良いサービスや良い雰囲気をつくる基盤になるからです。

今後の展望として、どのような事業展開を考えていますか。

今後は、福祉業界のベンチマークとなる企業を目指し、全国展開を必ず実現したいと考えています。私たちが進出することで地域の同業他社も刺激を受け、互いに良い競争が生まれる。そんな状態こそが業界全体を盛り上げる力になります。また、海外からの取材も増えており、「マッチョ介護は面白い」という声が世界中から届いています。生みの親として、マッチョ介護士が世界でどこまで通用するか挑戦してみたいと思っています。

最後に福祉関係者へのメッセージをお願いします。

福祉業界は今、大きな変革期を迎えています。福祉の枠を飛び越え、別の視点を取り入れることにより、新しい価値を生み出すチャンスが豊富にある、非常に魅力的な業界です。私たちがマッチョにとどまらず、全く新しい発想で挑戦を続けていきます。

福祉はクリエイティブな仕事です。既成概念をいったん手放し、新しい視点で挑戦しながら、一緒に福祉の新時代をつくり上げていきましょう。

さまざまな団体の
キラリとした活動を紹介

外国にルーツのあるこどもたちが 安心して生活・学習するために

青少年多文化学びサポート（所沢市）

日本で働く外国人が増加する中、日本語を母国語としないこどもたちも増えてきました。青少年多文化学びサポート（Educational Support for Multicultural Youth）は、外国にルーツのあるこどもたちが安心して生活できるよう支援を展開しています。

青少年多文化学びサポート（以下ESMY）は2012年に所沢市を活動拠点として

設立されました。もともとは国際交流を目的とした大人向けの活動を行っていた団体でしたが、徐々にこどもの参加者が増加し、そのこどもたちにも日本語学習のニーズがあったことから、別団体としてESMYが立ち上がったという経緯があります。

現在は就学前の児童から20歳くらいまでの青少年を対象に、日本語だけでなく、数学などの学習支援も行っています。学習者の登録は約120人（令和8年3月末現在）で、出身国はネパールが多く、中国やミャンマーなどアジア圏が大半を占めています。

教室は市内の公民館や自治

会の集会所など5カ所に設置

し、それぞれ週1回実施。こどもたちの日本語のレベルはさまざまなので、集団授業ではなく個別に学習支援をしています。外国にルーツのあるこどもが増加しているため、マンツーマンで対応することが難しい教室も出てきており、支援者を増やすことが課題となっています。

支援者は現在約60人。ほとんどはシニア世代で、約半数が元教員ですが、一般企業で働いていた方も活動しています。なかには学習者だったこどもが大学に進学し、支援する側になったケースもあります。

市が実施している「日本語

学習支援ボランティア養成講座」を受講する会員も多いのですが、ESMY代表の持丸邦子さんは「座学の知識だけでは上手に教えることは困難で、経験を積むことが一番大事」だと考えています。

ESMYは地域交流活動にも取り組んでいます。3月には市が主催する「所沢市国際交流フォーラム」に参加。学習者がダンスや歌を披露して、市民との交流を図りました。クリケットの大会に参加して優勝したこともあるそうです。

学習時間が削られるこども

活動を通して見えてきた課題として、持丸さんは「一部の学習者たちは学習時間が十分に確保できていないこと」を挙げます。日本語をほとんど話せない保護者が大勢いるため、こどもが通訳として、行政の手続きや通院の付き添いなどに同行し、学校をたびたび欠席することがあるそう

です。また、幼い兄弟の世話を任され、学習に支障をきたしている学習者もいます。

さらに、日本の滞在期間が長くなるにつれて母国語を忘れてしまうこどももいるため、親子間のコミュニケーションに問題が生じることもあります。

そこで、保護者のための日本語学習支援教室を紹介したり、就園や就学の支援なども行ったりしています。ESMYは日本語を教えるだけでなく、外国にルーツのあるこどもたちが、安心して生活し学習できるように、多面的な支援を続けています。



所沢市国際交流フォーラムで、ネパール出身の学習者が民族衣装を着てダンスを披露。自分自身をアピールする機会にもなりました。

福祉の魅力・やりがいを言葉にすると？

福祉への想いを聞きました！



青少年多文化学びサポート
(Educational Support for Multicultural Youth)

代表
もちまる くにこ
持丸 邦子さん

Q 言葉を選んだ理由を教えてください。

ESMYの学習者のこどもたちは、元気にあいきつしながら教室に入ってきますが、心配事があつたりするといつもと違う暗い表情を見せます。しかし、私たちと一緒に勉強したり、おしゃべりをしたりするなかで、ここにこした表情が変わってくるとホッと安心できます。こどもの笑顔に出会えることは、私たちの活動の大きな魅力になっていると感じています。

いることも多いので、悩みを聞いて一緒に考えることもあります。私は昔からこどもが大好きだったので、支援者の皆さんもこどもが大好きで一緒に学習することが楽しいという思いで活動しています。ESMYは県社協のひまわり基金など、助成金だけで活動費を賅っています。学習者は経済的に苦しい家庭のこどもが多いため、授業料はいただいていません。そのため、支援者には交通費程度しかお支払いできないのですが、皆さん、一人一人のこどもに寄り添いながら、親身に支援活動に取り組んでいます。私たちの教室はいつもこどもの笑顔に満ちています。

しせつの損害補償

令和8年度版

「しせつの損害補償」に新たな加入方式「法人包括プラン」ができました。従来の「しせつの損害補償（施設単位加入）」と「法人包括プラン（法人包括加入）」のいずれかを選択・加入できます。

法人包括プラン NEW

「法人包括プラン」は、福祉施設・事業を経営・運営する社会福祉法人が加入対象です。（社会福祉協議会を除く）

第1種
社会福祉事業

第2種
社会福祉事業

全ての
施設・事業を
自動補償

収益事業

公益事業

ポイント1

安心

福祉施設（事業）の明細要らずで、全ての福祉施設・事業を賠償事故からまとめて補償

ポイント2

便利

期中で新たに始めた福祉施設（事業）も手続き不要で自動補償

ポイント3

簡単

契約時は全ての入所型・通所型施設の合計定員数の申告のみ（保育所は別途加入）

しせつの損害補償 (従来の加入方式)

従来のしせつの損害補償は、社会福祉法人、社会福祉協議会、公立福祉施設（自治体）、NPO法人、公益社団法人、公益財団法人が加入対象です。

「法人包括プラン」・「しせつの損害補償（従来の加入方式）」ともプラン1～4は、共通内容です。

プラン1

施設業務の補償

プラン2

施設利用者の補償

プラン3

職員等の補償

プラン4

法人役員等の補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

(SJ25-11172 より抜粋)

11月7日(土)~10日(火)の4日間 埼玉県で初の開催 ねんりんピック彩の国さいたま2026について (その2)

ねんりんピック彩の国さいたま2026実行委員会事務局
(埼玉県福祉部ねんりんピック推進課内)



ねんりんピックの愛称で親しまれている全国健康福祉祭は、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典として開催されています。5月号では、交流大会と関連イベントをご紹介します。

4月号はこちら▶



● 交流大会

主に60歳以上の方を対象として、スポーツ26種目・文化4種目が県内24市町で開催されます。空手道とレクリエーションダンスはねんりんピックで初の開催です。詳細は大会特設ホームページをご覧ください。

● 関連イベント

年齢に関わらず、どなたでも楽しめる多彩なイベントを県内各地で開催します。その中から2つのイベントをご紹介します。

総合開会式【令和8年11月7日(土) 会場:熊谷スポーツ文化公園】

全国からの選手や観覧者を含め1万人以上が参加。埼玉が誇る豊かな自然や歴史、文化などの魅力を伝えるアトラクションを実施予定です。

ねんりん彩リフェスタ【令和8年11月7日(土)~9日(月)】

会場:ソニックシティ・鐘塚公園(さいたま市)

健康や福祉、生きがいに関する5つのイベントを一体的に開催します。

- 健康フェア:健康保持・増進に関する意識啓発に向けた、健康づくりに関する展示や体験コーナー
- 展示・相談コーナー:福祉機器等の展示や紹介、相談の受付
- ふれあいニュースポーツ:ポッチャなどこどもから高齢者まで誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの紹介・体験
- 地域文化伝承館(展示):高齢者が経験や知識、技術を生かして取り組む地域文化の伝承活動の実演や披露
- ふれあい広場:埼玉の特産品やグルメ、観光といった魅力を発信する各種コーナーやステージイベント

このほか、美術展、音楽文化祭、講演会、eスポーツなどを開催します。参加・観覧は原則無料です。詳細は、大会特設ホームページでご案内します。(おわり)

【交流大会開催種目及び会場地】

①上尾市 弓道	②朝霞市 空手道	③小鹿野町 サイクリング	④桶川市 インディアカ	⑤春日部市 卓球
⑥加須市 グラウンドゴルフ	⑦川口市 水泳 / 健康マージャン	⑧川越市 ダンススポーツ	⑨行田市 剣道	
⑩久喜市 レクリエーションダンス	⑪熊谷市 ソフトテニス / ラグビーフットボール	⑫鴻巣市 ソフトボール	⑬越谷市 太極拳 / 軟式野球	
⑭さいたま市 テニス / サッカー / なぎなた / 軟式野球 / 俳句				⑮幸手市 囲碁
⑯草加市 ボウリング	⑰秩父市 ベタング	⑱所沢市 スポーツエリネス歌	⑲戸田市 マラソン	⑳新座市 マレットゴルフ
㉑深谷市 ゲートボール	㉒本庄市 ゴルフ	㉓三郷市 スポーツチャンバラ	㉔蕨市 将棋	

■大会オリジナルダンス

特設ホームページで公開中!

全ての人が笑顔に、健康に、そして長生きできるようにという思いが込められたダンスです。このダンスを踊って、最高の笑顔でねんりんピックを盛り上げましょう!

大会特設ホームページ



福祉の街・アールスタッフ ネットワーク

株式会社 福祉の街
048-645-2943
https://www.saint-care.com/youism
さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F

無料カタログ
お送りします

介護のことなら何でもお気軽に
ご相談ください!

福祉用具のレンタル・販売 / 住宅改修

Silver
HOXON シルバーホクソン

通話無料 ローゴ ヨロシク
0120-65-4649 川口市中青木2-22-34

「令和8年度埼玉県介護支援専門員実務研修受講試験」のお知らせ

- **試験期日**：令和8年10月11日(日) 試験開始 午前10時
- **試験会場**：埼玉県内の大学等 (予定)
- **受験案内の配布場所・配布期間**
各市区町村介護保険担当課、各市町村社会福祉協議会、
埼玉県高齢者福祉課、県福祉事務所、埼玉県社会福祉協議会
6月1日(月)～6月30日(火) まで配布
- **申込方法・受付期間**
簡易書留による郵送のみ (持込不可)
6月1日(月)～6月30日(火) の当日消印分まで有効
- **受験に要する費用**
13,400円

ケアマネジャー業務課 TEL 048-824-3111

あなたの悩みに、誰かにつながる安心を。—5月は孤独・孤立対策強化月間です。

誰かに頼りたくても頼れない。話したくても話せない。誰もが孤独・孤立に悩むことがあります。内閣府の調査結果によると、日本に住む約40%が孤独を感じたことがあると回答しています。

孤独・孤立になっても助けを求める声を上げやすい、声をかけやすい社会をみんなで作っていくため、孤独・孤立対策官民連携プラットフォームでは毎年5月を孤独・孤立対策強化月間とし、行政・NPO・地域・企業などが連携して様々な取組や支援活動を行っています。



▲孤独・孤立対策強化月間
ホームページ (内閣府)



赤い羽根だより

令和7年度共同募金運動結果について

令和7年度共同募金運動は、令和8年3月31日で6ヵ月間の運動期間が終了しました。

この寄付金は、孤立防止のための居場所づくり活動や、貧困により日常生活に支障をきたした世帯を支援するフードパントリー事業、地域で行う防災や減災活動など、地域課題を解決するために重点助成を行うほか、県内の福祉施設を利用する人の支援のための備品購入などに活用されます。

寄付者の皆さまや募金ボランティアの皆さま、温かいご支援、ご協力をありがとうございました。

募金総額 7億3,389万3,636円

	赤い羽根募金	地域歳末募金	NHK 歳末募金	合計
目標額	550,000,000円	279,930,000円	22,000,000円	851,930,000円
募金額	456,204,524円	259,502,764円	18,186,348円	733,893,636円
達成率	82.9%	92.7%	82.7%	86.1%



ひとり親家庭を支援する
フードパントリー事業に



障害者が働く事業所の送
迎用マイクロバス購入に

寄付金のつかいみち (前期助成後の返還額など、助成準備金を一部充当しています)

- 市町村社会福祉協議会が行う地域福祉活動に……63団体 4億8,991万5,217円
 - 生活支援活動や地域住民同士のつながりづくり活動などに(重点助成)……22団体 574万7,000円
 - 民間福祉団体が行う福祉情報の発信や研修会事業等に……33団体 3,557万1,000円
 - 社会福祉施設の補修、送迎用の車両等備品の購入に……32団体 7,490万3,293円
 - 児童養護施設の子どもの進学費用に……20人 1,110万円
 - 災害ボランティアセンターの開設や被災した社会福祉施設の復旧費用に備える準備金に……2,200万円
 - 運動資材の製作等募金運動経費や管理運営費に……9,571万9,000円
- 合計 7億3,495万5,510円 助成後の残額については、令和8年度助成事業の財源として活用いたします。



社会福祉法人埼玉県共同募金会 年間を通して助成要望を受け付けています。

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819

赤い羽根さいたま 検索

ネット募金
受け付け中!

